

8月30日(木)～9月5日(水)は「防災週間」

防災は日ごろの備えと助け合いから

防災週間は、大正12年(1923年)9月1日に発生した「関東大震災」にちなみ、制定された「防災の日」を中心とする1週間です。

昨年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震(東日本大震災)では、地震とその後発生した津波のために、死者・行方不明者が2万人を超えるという甚大な被害をもたらしました。

東日本大震災を踏まえ、みなさん一人ひとりがもう一度身の回りで起こる災害について考え、平素から災害に対する備えに取り組みましょう。

地震が起きたら

突然大きな揺れに襲われたときは、まずは自分の身を安全に守れるように心がけましょう。

- 戸を開けて、出入り口の確保をしましょう。
- 棚や棚に載せてあるもの、テレビなどが落ちてきたりするので、離れて揺れが収まるのを待ちましょう。
- あわてて戸外に飛び出さない

▶大きな揺れを感じたら、安全の確保を第一に



◀屋内にいる場合は、出入り口の確保を

▶家族で、災害時の避難場所や避難路などを話し合ひましょう



◀非常持出袋や非常備蓄品の置き場所は、常に確認しておきましょう

地震はいつ起こるか分からないことから、時間帯や誰が在宅している場合は、日ごろから非常口の確認をしておきましょう。

●高層マンションなどに住んでいる場合は、日ごろから非常口の確認をしておきましょう。

地震が起きる前にできること
地震はいつ起こるか分からないことから、時間帯や誰が在宅している場合は、日ごろから非常口の確認をしておきましょう。

災害発生時の心得
職場や学校、外出先など、自宅から離れた場所にいるときに、大規模な災害が発生すると公共交通機関が運行を停止し、帰宅が困難になることが予想されます。

災害が発生したら、まず身の安全を確保するとともに、安全な場所にとどまって、落ち着いて交通情報や被害情報などを確認し、適切な行動を心がけましょう。

むやみに移動を開始しない
●まずは自身の身の安全を確保しよう。
●慌てて移動を開始するのはやめよう。
●家族の安否や自宅の無事を確かめよう。

台風・大雨にも注意

台風以外にも、近年は都市型水害が発生するようになり、ゲリラ豪雨のような、河川や下水道施設の処理能力を超える豪雨の発生頻度が高まっており、特に都市部では、浸水などの被害が多発するようになっていきます。

今年も台風のシーズンを迎えます。豪雨による河川の増水や道路冠水は、わたしたちの予想を超える速さで襲ってきますが、事前の予測は可能です。普段からテレビ、ラジオで流される気象情報を収集し、事前に付近の危険箇所を把握しましょう。

また、地震と同じように避難場所や連絡方法、非常持出品などについて家族全員で話し合い、一人ひとりが十分な対策を考慮しておくことも大切です。

安全な徒歩帰宅のために
●携帯ラジオや地図を持ち歩こう。
●職場などに歩きやすいスニーカーや懐中電灯、手袋、飲料水や食糧などを用意しよう。
●事前に発生時の安否確認の方法や集合場所を家族で話し合っておこう。
●徒歩やバスによる帰宅経路の状況を確認しておこう。
●コンビニやガソリンスタンドなどを確認しておこう。
※千葉県や九都府市では、コンビニやガソリンスタンドなどと

9月12日(水) **防災行政無線などを用いた全国一斉の緊急情報の伝達試験を行います**

市では、地震や武力攻撃などの災害時に、全国瞬時警報システム(J-ALERT)から送られてくる国からの緊急情報を、さまざまな情報伝達手段を用いて確実にみなさんへお伝えするため、市内で緊急情報伝達の試験を行います。

9月12日(水)・午前10時ごろ、午前10時30分ごろ(2回実施)。

情報伝達手段と内容
①防災行政無線の放送
市内に設置してある防災行政無線から、毎日実施しているチャイム放送と同じ音量で次の放送内容が一斉に放送されます。
●放送内容：「これは、試験放送です」3回、「こちらは、ほうさいいんざいです」、防災行政無線チャイム。
②防災メール
防災メールで、次の内容が配信されます。
●配信内容：「印西市からのお知らせです」、「これは、試験です」。
③印西市以外の地域でも、全国的にさまざまな情報伝達手段で試験が実施されます。
※J-ALERT(ジェイ・アラート)とは、地震・津波や武力攻撃などの災害時に国から送られてくる緊急情報を、人工衛星などを活用して瞬時に情報伝達するシステムです。
④防災課防災班。

10月14日(日)に 印西市総合防災訓練を実施します

市では、市民および関係機関などと合同で、毎年総合防災訓練を実施しています。

この訓練では、大地震発生を想定し、「地域住民の防災意識の高揚と防災行動力の育成」、「地域住民の自主救護能力の向上」、「住民同士の連帯意識の醸成」などを目的として、実践的な訓練を行います。

本年度は、西の原中学校区域を開催地として、次のとおり実施します。

10月14日(日)・午前8時～正午(荒天および災害発生の場合中止)。
●西の原小学校、原小学校、西の原中学校。
※当日、手話通訳者を配置しています。
●防災課防災班(☎内線454)。



平成22年の総合防災訓練から

徒歩帰宅支援協定を締結しており、水道水、トイレや交通情報などを可能な範囲で提供しています。

ただけです。
●防災課防災班(☎内線454)。